

第3学年 国語

学習の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成する。また、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

教科の目標と学校教育目標を達成するために目指す授業

- ☆基礎基本をきちんと覚え、覚えた知識を応用して、一人一人が考え、理解する授業
- ☆言語活動を通して基礎基本を定着させ、今後の言語生活に生かすと共に言語感覚を磨ける授業
- ☆生徒自らが主体的に取り組み、学ぶことによる達成感や成就感をもつことができる授業

学習の仕方

- ◇自分の考えや意見を分かりやすい「言葉」で伝えると共に相手の考えをよく聞き、理解する
- ◇授業で習った単元のポイントや重要な事項は授業のあった日に復習し、理解を深める
- ◇分からない言葉はすぐに調べ、内容が分かるまでしっかりと読み解く
- ◇漢字や言語事項は覚えるまで練習し定着させる
- ◇新聞記事を読むことで、読解力を付けるとともに自分の意見を持つ訓練を積む。

学習を効果的に進めるため、 家庭にお願いしたいこと

- 漢字練習・言葉のきまりの反復学習・授業の復習を大切にしてください。
- 「読解力」「言語力」等の向上のために、本や映画など言語文化に日常的に触れることを大切にしてください。
- 物事の原因や成り立ちなどを論理的に考えられるように日常生活の中で様々な疑問を大切にしてください。

観点別評価と評価の観点、評価方法

【知識及び技能】

- ・定期テストの「言語事項」観点の達成度
- ・漢字学習における達成度
- ・硬筆毛筆の技能及び取り組みの態度
- ・授業内に行う各種課題における達成度

【思考力・判断力・表現力】

- ・定期テストの「読む」観点の達成度
- ・定期テストの「書く」観点の達成度
- ・各単元の「書く」課題の達成度
- ・言語活動の技能および取り組みの態度
- ・授業内に行う各種課題における達成度

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・授業中の態度(取り組みの姿勢・話し合い等)
- ・定期テスト、単元課題などへの取り組み
- ・各種小テストへの取り組み
- ・提出された課題の内容(テスト毎の提出物や各単元における課題、硬筆毛筆の作品等)

年間の指導計画

1 学 期	【言語】文法・漢字 【話・聞】ディベート(「構成を考えて主張をまとめる」) 【読】「立ってくる春」【読】「なぜ物語が必要なのか」 【読】「メディア・リテラシーはなぜ必要か？」 【読】「新聞が伝える情報を考える」 【書写】硬筆 【古】「和歌の調べ」【古】「風景と心情」 【書】「具体例をもとに説明文を書く」
2 学 期	【読】「俳句の味わい」 【古】「旅への思い―芭蕉と『おくのほそ道』―」 【読】「AIは哲学できるか」 【読】「async―同期しないこと―」【読】「問いかける言葉」 【読】「薔薇のボタン」 【話・聞】ディベート(「意見を共有しながら話し合う」) 【書】「説得力のある批評文を書く」 【言語】文法 【書写】毛筆
3 学 期	【読】「故郷」【読】「初恋」 【読】「青春の歌―無明性の光―」 【書】「自己PR文を書く」 【話・聞】「対話力」とは何か 【読】「持続可能な未来を創るために」 【書】課題作文
授業時数 105 時間(テスト含む)	